

# 1年社会科(地理 歴史) 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の姿を見てみよう</li> <li>世界のさまざまな国々</li> <li>地球上の位置を表そう</li> <li>地球儀と世界地図を比べてみよう</li> <li>日本の位置</li> <li>日本と世界との時差</li> <li>日本の領域の特色</li> <li>北方領土・竹島と尖閣諸島</li> <li>日本の都道府県</li> <li>雪と氷の中で暮らす人々</li> <li>寒暖の差が激しい土地に暮らす人々</li> <li>温暖な土地に暮らす人々</li> <li>乾燥した土地に暮らす人々</li> <li>常夏の島で暮らす人々</li> <li>標高の高い土地に暮らす人々</li> <li>世界に見られるさまざまな気候</li> <li>人々の生活に根づく宗教</li> </ul>	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</li> <li>日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</li> <li>日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。</li> <li>人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</li> <li>世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</li> <li>年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。</li> <li>資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</li> <li>具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</li> <li>世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</li> <li>日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト</li> <li>実際に知識や技能を用いる学習場面</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代までの日本</li> <li>人類の出現と進化</li> <li>古代文明のおこりと発展古代までの日本</li> <li>(中国・ギリシャ・ローマ文明、三大宗教、旧石器、縄文、弥生、大和政権)</li> </ul>	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。</li> <li>日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</li> <li>比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断を問うペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動</li> </ul>
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りやレポート等における記述内容</li> <li>授業中の発言内容や姿勢</li> <li>問題集など提出物の内容</li> </ul>
社会科 歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州をながめて</li> <li>アジアNIESの成長</li> <li>巨大な人口が支える中国</li> <li>都市化が進む東南アジア</li> <li>急速に成長する南アジア</li> <li>資源が豊富な西アジア・中央アジア</li> <li>ヨーロッパ州をながめて</li> <li>ヨーロッパ統合の動き</li> <li>持続可能な社会に向けて</li> <li>EUがかかえる課題</li> <li>アフリカ州をながめて</li> <li>アフリカの産業と新たな開発</li> <li>発展に向けた課題</li> <li>北アメリカ州をながめて</li> <li>巨大な農業生産力と移民</li> <li>巨大な工業生産力</li> <li>新しい産業と生活文化</li> </ul>	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</li> <li>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</li> <li>年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。</li> <li>資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</li> <li>具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</li> <li>世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</li> <li>律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</li> <li>仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</li> <li>鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト</li> <li>実際に知識や技能を用いる学習場面</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代までの日本</li> <li>古代文明のおこりと発展古代までの日本</li> <li>(聖徳太子、大化の改新、平城京での暮らし、天平文化、平安京、摂関政治、国風文化)</li> </ul>	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</li> <li>比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断を問うペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動</li> </ul>
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世の日本</li> <li>(武士の登場、平氏政権、鎌倉幕府、武士の生活、鎌倉文化)</li> </ul>	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りやレポート等における記述内容</li> <li>授業中の発言内容や姿勢</li> <li>問題集など提出物の内容</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アメリカ州をながめて</li> <li>自然環境と共生する生活</li> <li>開発の進行と影響</li> <li>オセアニア州をながめて</li> <li>貿易を通じた他地域とのつながり</li> <li>人々による他地域とのつながり</li> <li>中世の日本</li> <li>(モンゴル帝国、蒙古襲来、南北朝、室町幕府、日明貿易、琉球・アイヌ、室町文化)</li> <li>近世の日本</li> <li>(中世ヨーロッパ、ルネサンス、大航海時代、ヨーロッパ人との出会い、織田信長、豊臣秀吉、桃山文化)</li> <li>地域調査の手法</li> </ul>	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アメリカ州・オセアニア州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</li> <li>南アメリカ州・オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</li> <li>元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がコーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</li> <li>南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</li> <li>農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</li> <li>ルネサンスや大航海時代、織田豊臣政権などを基に、ヨーロッパ人が世界に与えた影響やヨーロッパ人との出会いによって日本にもたらされた文化や変化を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト</li> <li>実際に知識や技能を用いる学習場面</li> </ul>
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とコーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>ヨーロッパ人との出会いに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の中世について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>中世の日本や近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断を問うペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動</li> </ul>
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アメリカ州・オセアニア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>中世の日本や近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りやレポート等における記述内容</li> <li>授業中の発言内容や姿勢</li> <li>問題集など提出物の内容</li> </ul>

## 2年社会科(地理・歴史) 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
社会科 ・地理 ○歴史	一学期	地理 ・日本の地域的特色と地域区分  歴史 ○ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ○江戸幕府の成立と対外政策 ○産業の発達と幕府政治の動き	知識・技能  ・日本の①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解している。 ○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		思考・判断・表現  ・日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ○交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動	
		主体的に学習に取り組む態度  ・日本の国土の特色について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容や姿勢 ・問題集など提出物の記載内容	
	二学期	地理 ・日本の地域的特色と地域区分 ・日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	知識・技能  ・日本の①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解している。 ・九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方に区分しについて、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		思考・判断・表現  ・日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の諸地域において、それぞれ①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象まで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動	
		主体的に学習に取り組む態度  ・日本の国土の特色について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容や姿勢 ・問題集など提出物の記載内容	
	三学期	地理 ・身近な地域の調査  歴史 ○欧米における近代化の進展 ○欧米の進出と日本の開国 ○明治維新	知識・技能  ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		思考・判断・表現  ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動	
		主体的に学習に取り組む態度  ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容や姿勢 ・問題集など提出物の記載内容	

### 3年社会科 歴史 公民 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
社会科	一学期 ◎歴史 ・日清戦争と日露戦争の近代産業 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本  現代の日本と私たち ・戦後日本の出発 ・冷戦と日本の発展 ・新たな時代の日本と世界	<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まることと、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。</li> <li>○ 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</li> <li>○ 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。</li> <li>○ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</li> <li>○ 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</li> <li>○ 高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題、実際に知識や技能を用いる学習場面。</li> </ul>
		<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>○ これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動。</li> </ul>
		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>○ 近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>○ 現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートや振り返りなどにおける記述内容</li> <li>・授業中の発言内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>
	二学期 ◎公民  現代社会 (情報化、グローバル化、少子高齢化、文化とは、伝統文化、社会的存在、効率と公正、規則)  政治 日本国憲法 (民主主義、人権保障、日本国憲法の成立・特徴、自由権、平等権、差別、社会権、参政权、新しい人権、三権分立)  民主政治 (世論、政党、選挙制度、国会、内閣、裁判、地方自治、地方公共団体、司法財政)  経済 市場経済 (貨幣、市場価格、家計、消費生活、企業とその活動、金融、勤労、労働環境、企業の社会的責任、景気、財政政策)  財政 (国の支出と収入、社会資本、社会保障)	<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した資料の中から、少子高齢化、情報化、グローバル化などの学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・現代社会における文化の意義や影響、我が国の伝統と文化に関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、文化についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・文化によって初め豊かな生活を享受できること、もの見方や考え、判断、価値観などが文化によって影響を受けていること、文化が現代社会を規定する大きな要因の一つであることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関するさまざまな資料や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・人間の尊重と、法の意義及び法にもとづく政治の大切さに関する資料をさまざまな情報手段を活用して、収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心に、人間の尊重の考え方とこの考え方は法によって保護されていること、法にもとづく政治が民主政治の原理となっており、基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・日本国憲法をはじめとした法に関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・我が国では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法にもとづく政治によって、国民の自由と権利が守られていること、基本的人権の理念は、現代の社会生活における人間の生き方の指針となると考えられること、国民主権とは、国の政治を最終的に決定する権限が国民にあることを意味していること、代表民主制においては、その権力が国民の代表者によって行使されること、平和主義については、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようとする願望、国際紛争解決の手段としての戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したこと、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であること及び天皇の行方国事行爲の特色について理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、国の政治のしくみについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・国会は、主権者である国民の代表者で構成されていること、また国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であること、内閣については、我が国が議院内閣制を採用していること、政党は、同じ政治上の主義、主張をもつ者により組織され、政策を示し多数の合意を得て政権を獲得しようとする団体であり、議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであること、多数決が民主的な議決方法として用いられるには十分な説得と討論が必要であり、そのため言論の自由が保障されなければならないこと、多数決が公正に運用されるためには、反対意見や少数意見が十分に尊重される必要があること、法にもとづく公正な裁判によって国権の権利が守られ、社会の秩序が維持されていること、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、自らが自らを治めるといふ民主政治の基本的な考え方と、その考え方ももとづく地方公共団体の政治のしくみについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・地方自治は、住民参加による住民自治が基本であること、地方公共団体の政治は、首長と議会の二つの機関を中心に成り立っていることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・収集した資料の中から、経済活動の意義についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・経済活動の意義が人間の生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないこと、市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・個人の消費生活に関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・国や地方公共団体は消費者の権利の尊重及びその自立の支援のために消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・企業の生産活動、金融などに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、現代の生産や金融などについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・市場経済においては、企業は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産するかを選択していること、人々が求める財やサービスを作り出す生産が、企業を中心に成り立っていること、金融には、家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活の資金などとして円滑に循環させる働きがあること、企業は、市場において生産活動以外に社会的に貢献していることを理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・国や地方公共団体の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題、実際に知識や技能を用いる学習場面。</li> </ul>
	<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、情報化、グローバル化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・我が国の伝統と文化が現代社会に与えている影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法の関係から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・日本国憲法にもとづく政治により、国民の自由と権利が守られ民主政治が行われるということについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・国民の代表者によって構成される国会で国民の意思を決定する議会制民主主義が我が国の政治の原則となっていること、選挙は、主権をもつ国民の意思を政治に反映させるための主要な方法であって、議会制民主主義を支えるものであることをふまえ、良識ある主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・民主的な政治と政治参加にかかわる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・消費者の経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、企業の経済活動にかかわるさまざまな事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動にかかわるさまざまな事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動。</li> </ul>	
	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色に対する関心が高まっている。</li> <li>・我が国の伝統と文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかについて意欲的に追究している。</li> <li>・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。</li> <li>・人間の尊重と、法の意義及び法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方を、民主的な社会生活について考えようとしている。</li> <li>・基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法に対する関心が高まっている。</li> <li>・国における現実の政治に対する関心を高め、将来国政に参加する公民として、民主的な政治と政治参加の方法について考えようとしている。</li> <li>・地方公共団体の政治に対する関心を高め、自らが自らを治めるといふ民主政治の基本的な考え方と、その考え方ももとづく国や地方公共団体の政治のしくみについて意欲的に追究している。</li> <li>・経済活動の意義について関心が高まっている。</li> <li>・個人の消費生活などに対する関心が高まっている。今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について考えようとしている。</li> <li>・企業の生産活動、金融などに対する関心を高め、今日の経済活動に関する諸問題に着目し、企業の経済活動、金融について考えようとしている。</li> <li>・国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートや振り返りなどにおける記述内容</li> <li>・授業中の発言内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>	
三学期 国際 国際社会 (国家、領土、国際連合、紛争、核兵器の脅威、国際社会における日本の役割、貧困、環境、資源、エネルギー)  課題の研究 (持続可能な社会)	<b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。</li> <li>・国際社会の活動に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際機構などの役割の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、国際社会における課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることについて理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・地球環境、資源、エネルギー、貧困などの課題についての学習に役立つさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・地球環境、資源、エネルギー、貧困などの課題に対しては、経済的、技術的な協力などが大切であることについて理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。</li> <li>・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題及びその課題を探究するための方法について理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題、実際に知識や技能を用いる学習場面。</li> </ul>	
<b>思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会及び我が国の果たす役割について、国際社会の活動にかかわるさまざまな事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・地球環境、資源、エネルギー、貧困などの課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストなどによる論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動。</li> </ul>		
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。</li> <li>・地球環境、資源、エネルギー、貧困などの課題に関心を高め、意欲的に追究している。</li> <li>・持続可能な社会に対する関心を高め、それを形成するために解決すべき課題を意欲的に探究し、自分の考えをまとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートや振り返りなどにおける記述内容</li> <li>・授業中の発言内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>		